

静岡県立美術館の館長を長年務めていただいた芳賀徹先生が、令和2年2月20日に御逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心より御冥福をお祈りいたします。

平成22年4月から平成29年3月までの間、静岡県立美術館館長として、富士山の世界文化遺産登録を記念して開催した「世界遺産登録記念 富士山-信仰と芸術-」展や、先生の学術研究の集大成とも言える「徳川の平和」展など、深い学識に裏打ちされた数々の展覧会を企画され、退任後も、名誉館長として大所高所から美術館の運営を支えていただきました。

この他、富士山世界遺産センター（仮称）基本構想策定委員会委員長、日本平山頂シンボル施設基本構想策定委員会委員長など、本県の文化芸術振興の多くの場面で多大なる貢献をいただくとともに、徳川みらい学会の会長として、徳川時代の知恵や歴史的意義をさまざまな機会で発信なさってられました。

県民の文化力の発展に寄与された芳賀先生の志を引き継ぎ、これからも文化の薫り高い“ふじのくに”づくりを推進してまいります。



は が とおる
芳賀 徹氏

静岡県立美術館名誉館長

芳賀徹氏と“ふじのくに”静岡県

平成27年2月23日

「富士山の日」記念鼎談

芳賀徹氏立美術館館長（当時）、高階秀爾大原美術館館長、川勝知事による鼎談。

没後400年を迎えた徳川家康公の功績を振り返るとともに、富士山の持つ可能性や、静岡県と日本の未来について語り合った。

※「ふじのくに」第22号に掲載



平成26年10月30日

ロダン館20周年記念式典

ロダン館の開館20周年を記念し、フランスロダン美術館館長のカトリーヌ・シュヴィヨ氏を招き、記念式典を開催。ロダンの「地獄の門」の前で挨拶。



平成28年9月17日～11月3日

静岡県立美術館開館30周年記念展「徳川の平和」開催

江戸時代を「バクス・トクガワナ」（徳川の平和）と呼んだ芳賀氏の学術研究の集大成ともいえる企画展となった。



特別講演会 鼎談「バクス・トクガワナに花開く絵画」